

JOMA 通信

Japan Overseas Missions Association

海外宣教連絡協力会公報

No. 39 発行者/安海 靖郎

海外宣教連絡協力会事務局

東京都杉並区高井戸東2-25-11-308

☎168 Tel. (03)3335-3049

郵便振替 東京 6-106631

インマヌエル諸教会の

世界宣教への取り組み

平位全一 (JOMA副会長)

インマヌエル綜合伝道団は「聖」と「宣」とを、創群のモットーとしている教会である。その創設以来の重荷が「聖書的なホーリネスの世界大の宣証」なのである。それゆえ、教団全体として、また、地方教会のレベルにおいて、世界宣教とどのように取り組むかは当初からの群れの課題であった。

1945年の創群直後ともいえる1950年には「林間聖会」と呼ばれる青年のための夏の聖会が開催されている。そして1952年には「関西聖会」が、これらの聖会の最大の目的は若者に神の召命について考え、それに応じる機会を提供することにあった。現在においては同じ目的で、全国12ヶ所で聖会が持たれるに到っている。これらの聖会には「宣教会」と称せられる集会が必ず組み込まれ、世界宣教の様々な面が語られ、宣教への参与へと挑戦が投げ掛けられる。

献身を表明した兄弟の名前が記録され、祈りと共に各教会を通して、宣教への具体的な参与のために指導示唆が与えられる。直接伝道・宣教への召命を自覚した兄弟のほとんどは、その準備のために教団立の聖宣神学院に入学し、卒業後は国内外の伝道・宣教の働きについている。

それぞれの教会において、会員の兄弟は、自分の教会の必要を担うのみか、任意的な「国外宣教献金」に加わって、国外での働き＝現在は7カ国、8つのステーションに、15名の宣教教師たちが派遣されている＝を支援している。国外宣教局からは、教会員ひとりびとりの宣教へのより大きな関心と参与とを願って、

・国外宣教局カレンダー＝宣教師たちの誕生日が記入されていて、一目瞭然である。

・国外宣教局ニュース
・宣教地だより
・国外宣教 UP TO DATE＝祈りの課題と讚美の題目の時期に叶った簡単なリスト、
が月々、各教会に送られている。

多くの教会には、宣教応援部、あるいは応援委員会が作られていて、クリスマスなど折々に宣教師家族への励ましの物資が送られている。近年では派遣されている日本からの宣教師に応援物資が送られるのみか、台風や地震などの災害にあった現地教会の復旧などのために特別献金が送られることも多くなってきた。宣教に携わる期間が長くなるにつれて、より多様な宣教参与が期待されてきている。

インマヌエル綜合伝道団の国外宣教との取り組みにおける特徴のひとつは、教派による宣教活動でありながら、必ずしもインマヌエル教会の子教会を海外に生み出そうとしていないことである。摂理によって、台湾に於ける宣教の働きは、他団体と関係なく「以馬内利台中基督教会」を生み出すに到ったが、そのほかの宣教地における働きはことごとく、連盟の関係にある国外の教会、また、宣教団体との協力のもとになされている。与えることを通して現地教会の堅立をと願っている。それは我々が多くを与えられて現在に到っていることを知るからである。しかし「与える＝与えられる」と言ったことを考えるとき、群れは創設以来、外国の教会、また、宣教団体に依存しないで、神のみを仰いで自給原理に立つて国内伝道、また教会形成に携わってきたことも、その特徴の一つとして数え上げられるであろう。同じ原則が国外の働きにおいても適応されている。

宣教師子女の教育問題、福祉のことなどもかなり以前から、宣教師を派遣する側においては考慮されてきている。取り組むべき課題は大きく多いが、宣教の主を仰ぎつつ、従うのみである。

世界宣教特別週間を試みて

芳賀正（フリーマガジナ編集顧問）

今回私たちの教会では、ウイクリフ聖書翻訳協会のミッション・ダイナミックスを取り入れ、1991年9月22日から29日まで「世界宣教特別集会」を実施しました。今までは毎年、宣教師を迎えての宣教礼拝や毎月の宣教のための祈禱会を行なってきましたが、もっと直接に宣教の問題を学ぶために、この集会を取り入れました。

一週間すべての集会を海外宣教に焦点を置いて、宣教師の方々に直接触れて、聖書の宣教とは何か、私たちにできることは何か、何をすべきか等をそれぞれの立場で考え、学びました。

小金井教会で学生時代とも共に信仰生活を送り、献身時代、教会で生活され、今はフィリピンで聖書翻訳の奉仕に当たっている虎川清子先生、また同じ翻訳に従事されている福田宣教師ご夫妻、そして日本でウイクリフの働きを推進されておられる石川先生ご夫妻をお迎えし、各自の立場で、宣教について語って頂きました。今までは聞くことが主でしたが、今回の集会は、出来るだけ小さな集まりとより個人的なものにして、自分たちの世界宣教とは何かを考え、質問も自由にできるようにしました。

この集会を行なった事によって、教えられたことは、世界宣教は自分たちの働きであるのにも関わらず、あまりにも無知、無関心であったことです。世界宣教の働きがこれから身近なものとなり、これからの働きに活かされて行くことを願っています。

このような集会が他の教会でも取り入れられていくことによって、世界宣教の輪が広がっていくことを願います。

私たちの教会の宣教部

— キリスト教朝顔教会 —

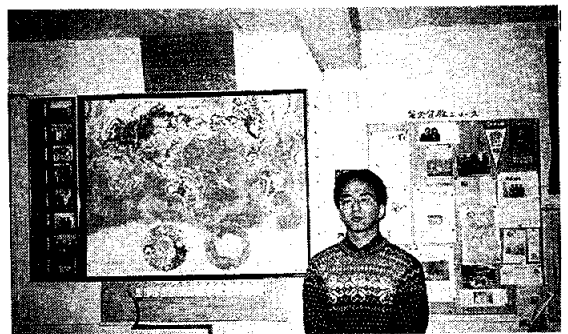
海外宣教部 植木紀夫

朝顔教会海外宣教部の働きは、世界各地に遣わされている宣教師を覚え、私達のできる支援を行い、教会にあっては海外宣教についてより多くの理解と支援を得てこの働きの拡大を計ることです。福音宣

教のために召されている教会が、国内宣教に具体的なプロジェクトを持つ様に、国外宣教にも同じ様に具体的なプロジェクトを持って働きを進めていく、そのような理解のもとで以下のような活動を行っています。

- ①海外宣教祈禱会…支援している宣教師の近況・消息等を報告し、祈りの時を持ちます。毎月第三水曜に行っています。
- ②祈禱課題ニュースの発行…毎月の海外宣教祈禱会で交換される宣教師の活動状況・宣教地からの消息・祈禱課題等を掲載し、教会内向けに発行します。また、教会月報でも海外宣教特集を海外宣教月間の6月に行っています。
- ③宣教師への便り…各宣教師へ「声の便り」（テープによるお便り）、クリスマスやイースターにはカードの寄書きを送ります。
- ④古着の収集とブラジルへの送付…現地の宣教活動で、中古衣料品のバザーは恒例となっています。古着を収集し、年に一度、在ブラジル宣教師のもとに送っています。
- ⑤宣教地視察・活動応援のための派遣…初期の頃は海外宣教部としてアジアへ視察団を、昨年からは、教会としてブラジルへキャラバン隊を派遣しています。これらの働きを通して、宣教地の現地の姿を教会に紹介しようとしています。
- ⑥在日ブラジル日系人の集い…現在、中長期に渡って日本に滞在している日系ブラジル人の為の集会を隔週でもっています。

その他、一時帰国中の宣教師をお招きしての宣教報告の時を随時企画していますが、特に毎年6月を海外宣教月間として覚えています。



宣教師地図ボード（宣教師の名前のボタンを押すと、宣教師の写真と奉仕場所にランプが点灯する）

私と海外宣教

—JOMAでの奉仕を終えるにあたって—

前事務局長代行 稲垣博史

聖書同盟がJOMAの事務局の活動を引き受けたのは1984年だったが、ある事情で私が事務の責任を持つようになったのが1985年の初頭からであった。以来6年余にわたってJOMAの活動に関わらせていただいた。海外宣教セミナーの企画や、JOMA通信の編集、宣教師地図の発行、志願者用ハンドブックの制作など、海外宣教に関して他ではできないような活動に参加できたことは、大きな恵みであったと感謝している。また、二年ごとに改選される役員の先生方とも良い交わりをいただき、多くのことを教えられたことも一つの特権であった。

私がフルタイムで主に仕える決断を導かれたのは今から26年ほど前のことだが、そもそものきっかけは、海外宣教への関心であった。大学4年生の時に明確な信仰を与えられ、教会に集うようになったが、当時、現在MTCの奉仕をしておられる奥山実先生がインドネシアに行く準備をしておられ、巡回中に私の集う教会でメッセージをなさった。また、夏期修養会でも、またメッセージを聞く機会があった。その時、私の心にもしかしたら主は私を海外宣教の奉仕に導いておられるのかもしれないという思いが与えられた。さらに、当時開かれていた東日本宣教の集いに参加したのだが、その集会の中で献身の決意を与えられたのだった。それから、当時WMFというHi-B. A. のOBたちによる海外宣教の研究と祈りのグループを紹介され、当時数少なかった宣教師を招いて話を聞いたり、宣教地についての資料を集めるというような経験をした。そのグループの中から、中田智之、牧野直之、鳥羽季義、太田和功一、牧野（旧姓森）由紀子、福田崇など宣教師として活躍中の方々が輩出している。

神学校を卒業するとき、海外への道は開かれなかった。その代わり聖書同盟という働きの中で、特に中学生伝道への道が開かれ、これまで21年間にわたり、この働きに従事している。しかし、この働きの中でも、海外、特にアジアの国々との協力のために諸外国の教会指導者の方々と交わり、また、様々

な形で奉仕する機会が与えられてきた。結局、日本の教会は、日本とアジア諸国との関わりの重い歴史の流れの中で、アジアにおいてどのような協力をすることができるのか、という問題意識を育てられてきたように思う。そういう中でJOMAの奉仕であった。私自身も、海外宣教セミナーやその他の活動を通して、日本の教会の海外宣教の現実を知らされ、考えさせられてきた。先進の宣教師派遣国である西欧の教会は、多くの経験の蓄積の中で様々な問題に対処するノウハウを持っている。それから考えれば日本の教会の海外宣教はまだまだこれからではないか。例えば、宣教師子弟の教育の問題である。特に、子弟の教育の問題は宣教師としての働きを継続できるか否かという大きな決断を左右することになる。宣教師とは何かという根本的な問題がそこに横たわっている。この問題についてのコンセンサスがなければ今後、若い人々のなかで宣教師となることに大きなためらいが生じるのではないだろうか。そのような面で、JOMAの果たす役割は大きいと感じる。宣教団体の交わりの中として、実務レベルでの経験の分かち合い、そしてより本質的な諸問題を討議する場所として生かされることが、日本の教会の海外宣教の前進に役立つに違いない。そういう意味で、日本の福音的諸教団、諸教会、諸団体の交わりと協力の場であるJEAとの有機的なつながりをぜひ実現してほしいと願う。この度、JEAの事務局長としての奉仕に導かれたことも、あるいはそのようなことのために備えられていたのかも知れないと感じている。(聖詞訳註・JEA専載版)

宣教師志願者のための ハンドブック

JOMAがここ数年来取りかかってきました宣教師志願者のためのハンドブックの編集がほぼ終わりに近づきました。まもなく発行の予定です。現在活躍中の宣教師や、宣教師経験者の方々の貴重な経験からの、内容のあるハンドブックになりました。海外での働きに関心のある方はもちろん、海外宣教に関わっている方々にぜひ読んでいただきたいと願っています。

J O M A 加盟海外宣教団体所属
宣教師一覽表

派遣国	宣教師名	奉仕内容	派遣団体 (JOMA加盟)
香港	佐藤 信子師 木村 詔子師	香港神召教会伝道師 大陸家の教会激励・問安	アソシエイト・オブ・ゴッド教団海外伝道部 アソシエイト・オブ・ゴッド教団海外伝道部
台湾	小野寺 義尚師 木下 理恵子師 葛田 康毅師 松元 節子師 鷹羽 富美子師	聾者伝道と牧会 工場労働者への伝道 教会建設 台湾山地教会伝道 客家人伝道	東洋ドミニカン伝道教会 国際福音宣教会 (OMF) インマヌエル総合伝道団 アジア福音宣教会 アジア福音宣教会
タイ	田中久美子師	医療伝道 (看護婦)	アンテオケ宣教会
パル	烏羽 季義師 森 敏師	聖書翻訳 (カリン語) 農業技術指導	ウィクリフ聖書翻訳協会 アンテオケ宣教会
韓国	長沢 久美子師	聾者伝道	アンテオケ宣教会
日本	石川 学師 安海 靖朗師 岩井 満師	日本事務局の諸奉仕 国内宣教師 東アジア地区聖書同盟コンソルチウム	ウィクリフ聖書翻訳協会 アンテオケ宣教会 聖書同盟
ソマリア	牧野 直之師 横内 澄江師	新任宣教師訓練と指導 教会の牧会と伝道	国際福音宣教会 日本福音自由教会海外宣教委員会
イスラエル	樽山 啓子師	ユダヤ人・アラブ人伝道	日本アソシエイト・オブ・ゴッド教団海外伝道部
フィリピン	葛田 緑乃師 梅田 昇師 虎川 清子師 福田 崇師 山見 りつ子師 安森 ハル師 山内 佐代子師 島先 克臣師 エンリク・ベドロ師	留学中 聾学校・視覚障害 聖書翻訳 聖書翻訳 聖書翻訳 聾学校にて宣教奉仕 聾学校にて宣教奉仕 開拓伝道 牧会伝道・日本語教師	インマヌエル総合伝道団 インマヌエル総合伝道 日本ウィクリフ聖書翻訳協会 日本ウィクリフ聖書翻訳協会 日本ウィクリフ聖書翻訳協会 東洋ドミニカン伝道教会 東洋ドミニカン伝道教会 日本福音自由教会海外宣教委員会 日本ドミニカン教団海外宣教局

インドネシア	松村 隆師 小栗 宏子師 高田 正博師 田口 勇新師 土井 彰師 吉永 輝次師	聖書翻訳 聖書翻訳 聖書翻訳 聖書翻訳 聖書翻訳 バプティスト日本人教会牧会	日本ウイクリフ聖書翻訳協会 日本ウイクリフ聖書翻訳協会 日本ウイクリフ聖書翻訳協会 日本ウイクリフ聖書翻訳協会 日本ウイクリフ聖書翻訳協会 アンテオケ宣教会
パナマ ・ ニューギニア	吉川 啓子師 永井 康子師 中村 孝師 大鈔 秀樹師 橋本 一雄師 野沢 道世師 相原 雄二師	聖書翻訳 聖書翻訳 聖書翻訳 聖書翻訳 聖書翻訳 聖書翻訳 教会建設・信徒訓練	日本ウイクリフ聖書翻訳協会 日本ウイクリフ聖書翻訳協会 日本ウイクリフ聖書翻訳協会 日本ウイクリフ聖書翻訳協会 日本ウイクリフ聖書翻訳協会 日本ウイクリフ聖書翻訳協会 インマヌエル総合伝道団
グアム	福田 弘之師	電波宣教（番組制作）	太平洋放送協会海外放送部
ケニア	三上 喜恵子師 富沢 香師 竿代 照夫師	病院看護婦 病院看護婦 教会建設・児童伝道	インマヌエル総合伝道団 インマヌエル総合伝道団 インマヌエル総合伝道団
アメリカ	杉山 星則師 熊井 裕作師 佐藤 恵一師 近藤 泉師	日系人伝道 日系人伝道 在米日本人伝道 在米日本人伝道	アンテオケ宣教会 アンテオケ宣教会 キリスト兄弟団海宜局） リバーサイドキリスト教会連合海外宣教委員会
ジャマイカ	植木 英次師	聖書学校教師・教会建設	インマヌエル総合伝道団
ブラジル	馬場 千恵子師 佐藤 浩之師 中田 智之師 大前 信夫師	教育宣教 日系人教会伝道・牧会 マウス日付初等中学校建設・運営 現地教会の協力宣教師と日系人伝道	南米宣教会 南米宣教会 南米宣教会 日本キリスト教団海外宣教局
ボリビア	三森 邦夫師	教会建設	インマヌエル総合伝道団
アルゼンチン	在原 繁師	日系人伝道	アンテオケ宣教会

JOMA関西セミナー にご参加ください

1991年度のJOMA海外宣教セミナーは、この2月に関西地区で開催することになりました。関西地区では、久しぶりの海外宣教セミナーになります。インドネシアで特にイスラムの人々への伝道者として用いられているジョセフ・ロニー師を講師に迎えると共に、海外宣教に関わってこられた諸講師による豊富な分科会を予定しています。関心のある方々の参加を期待しています。

主題：いま激動する世界へ向かって

日時：1992年2月28日(金)～29日(土)

会場：大阪・桃谷ナザレン教会

主講師：ジョセフ・ロニー師(インドネシア)

主なプログラム：講義、分科会(召命と準備、必要とされている宣教師、ソ連東欧宣教、中国宣教、世界宣教への日本の教会責任、宣教師の生涯計画、健康管理と福祉、危機管理、今日の宣教学、地域教会と世界宣教、在外日本人伝道、在日外国人伝道、世界宣教と文化)

費用：レジュメ代500円(席上献金あり)

なお、2月28日(金)7時より9時までは、一般むけの宣教大会を開催します。講師はロニー師。特別賛美は関西エバンジェリカル・ハーモニーを予定しています。

主催：JOMA関西セミナー実行委員会

連絡先：〒662 西宮市染殿町2-6 兄弟団西宮教会
☎0798-26-0332

なお、同実行委員会の主催で、EFA(アジア福音連盟)総主事のアレフレッド・ヨー師を講師に迎え、「アジアの宣教事情と方策」のテーマのもとに特別宣教セミナーが下記のように開催されます。

日時 1992年1月26日(日)

午後6時30分～8時30分

会場 府立青少年会館(大阪・森之宮)

4階第7会議室

(席上献金あり)

ヨー師は、この数年、インド、ネパール、ビルマなどを訪問し、アジアの宣教事情に詳しい方です。

JOMA海外宣教地図はいかがですか

1990年11月発行のJOMA海外宣教地図は、昨年再刷りをしました。まだ、多少残部がありますので、ご利用ください。1部250円です(送料別)。

JOMA役員会報告

1991年10月23日、1992年1月8日に第3回、第4回役員会を開催しました。関西におけるセミナーの準備、JOMA通信発行の準備、1992年度総会の準備、来年度方針案・事業案などを話し合いました。来年度の計画としては、JEAとの交わりを深め、さらに加盟団体を募り、いくつかの場所で海外宣教セミナーを開催する方向を確認しました。1992年度総会は、4月13日午前11時より御茶ノ水キリスト教会館にて開催されます。

1991年度会計状況報告

項 目		91年度豫	91年12月末残
収 入 の 部	会 費	672,000	576,000
	献 金	150,000	94,075
	雑 収 入	275,000	189,376
	前年度繰越		118,634
計		1,097,000	978,085
支 出 の 部	セミナー費	50,000	0
	文 書 費	240,000	125,670
	役員会費	100,000	26,938
	事務所費	300,000	200,000
	事務費	250,000	114,849
	総会費	35,000	25,030
	総主事職 予備費	100,000 22,000	0 0
支出計		1,097,000	492,487
次月繰越金		0	485,598
計		1,210,729	978,085

なお、今年度は、キリスト兄弟団鎌池教会およびフリーメソジスト小金井教会から月定献金をいただいています。また、日本メノナイト・ブレザレン教団、東京聖書学校からも献金をいただきました。JOMAの会計の祝福のためにお祈りください。